

# 防災福祉アプリ共同活用ネットのご提案

～みんなで創り、みんなで学び、みんなで活用していきましょう！～

## 私たちの思い

地域防災の主役である住民や福祉専門職が要援護者情報を共有し、避難支援の仕組みを作るため、今「防災福祉の現場で使えるデジタルマップ」が求められています。


私たちは、個人情報保護に配慮しつつ必要な情報を共有するため、キントーン（サイボウズ株）とカンタンマップ（あっとクリエーション株）の組み合わせに惚れ込み、実証実験によりその有効性を確認してきました。

このツールを、自治会や福祉事業所など、みんなで活用していきよう「共同活用ネット」の仕組みを提案します。

## 共同活用ネットとは

大きな社会福祉法人や都道府県社協、指定都市社協などが、「共同活用ネット」本部を設置、地域の防災福祉関係団体の参加を募り、会費により防災福祉アプリを共同で活用する仕組みです。

## 「共同活用ネット」本部が提供する機能

共同活用ネット 加入メリット①	加入団体に、防災福祉アプリを「みんなで活用」できる環境を提供します。			
	キントーン 1アカウント	カンタンマップ 防災福祉版 〔プラグイン〕	 防災福祉 カンタン マップ	スマホと連携 ※一部の情報のみ共有 ※100台まで
共同活用ネット 加入メリット②	みんなで学ぶ機会を提供します。			
	月例ZOOM ミーティング	セキュリティ 研修	サポート業者の 紹介、発掘	
共同活用ネット 加入メリット③	現場で使えるアプリをみんなで創り、交換しあいましょう。			
	地域支え合い センター用 アプリ	災害VC用 アプリ 〔他県から提供〕	在宅医療機器 利用者支援アプリ 〔今後検討〕	災害派遣福祉 チーム用アプリ 〔今後検討〕

防災福祉 **みんなのやる気** を応援するアプリです。



# 防災福祉 カンタン マップ

Leave  
no one  
behind

4つの思いを **アプリ** でつなげる

民生児童委員

地区役員

市町村・社協職員

福祉専門職



長野県内の団体、法人、自治体の場合

防災福祉アプリ共同活用ネット長野

### 【加入案内】

○会費（1アカウントごと） 月額 2,980円

○新規申込開始 令和4年5月から

○初期導入経費 5万円〔作業内容により割引があります〕

設定、現地指導1回を含みます。※実証実験参加団体は不要

※初期設定作業のため、申込から利用開始までお時間を頂く場合があります。

※原則として、1アカウントでユーザーが、事務所内のパソコンで使用できます。  
〔キントーン使用ルール等による〕ただし、バックアップのためにパソコン、タブレット等で使用することは可能です。

※スマホ連携機能は、一部の情報のみを共有しアカウントで100台まで連携可能です。

長野県外の団体、法人、自治体の場合

あなたの地域でも「共同活用ネット」を立上げましょう！

立上げを検討頂ける場合、「お試しアカウント」（2か月無料）を提供できる場合がありますので、お気軽にお問合せください。

防災福祉アプリ共同活用ネット長野

広がれ「共同活用ネット」事務局

## 【お問い合わせ】

長野県社協・まちづくりボランティアセンター

〒380-0936 長野県長野市中御所岡田98-1  
TEL.026-226-1882 FAX.026-227-0137

特定非営利活動法人 さくらネット

〒662-0041 兵庫県西宮市末広町4-7  
夙川レッチオレジデンツァ402 TEL:0798-23-3215

 <h3>クラウドで共有</h3> <p>国の認証を受けたクラウドサービス「キントーン（サイボウズ株）」を利用、情報セキュリティと個人情報保護を徹底しながら共同活用します。</p> 	 <h3>デジタルマップ</h3> <p>カンタンマップ（あっとクリエーション株）で災害時要援護者のリスクを「見える化」。個別帳票の作成や大版印刷機能も備え、防災福祉の現場を支えます。</p> 	 <h3>スマホと連携</h3> <p>自治会役員や福祉職員は、担当する要援護者の安否確認を行い、スマホから本部のデジタルマップに送信します。避難訓練や水害の事前避難での活用が期待されます。</p>	 <h3>広がる可能性</h3> <p>今後、災害時に活動するボランティアセンターや災害派遣福祉チーム用のアプリの開発を予定。包括的な情報把握により、支援の質の向上を目指します。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

特定非営利活動法人 さくらネット



# リスクを「見える化」する基本機能

自治会や福祉・介護事業所の持つ災害時要援護者情報を災福マップで「見える化」し、支え合いマップづくりや個別避難計画策定に活用します。



※名前はサンプルです。

個 票	
氏名	長野太郎
フリガナ	ナガノ タロウ
性別	男
ABCランク	A
住所	長野市
行政区	〇
地区名	〇
地区コード	〇
世帯状況	高齢者世帯
近隣状況	〇
避難状況	〇

個別避難計画	
氏名	長野太郎
住所	長野市
行政区	〇
地区名	〇
地区コード	〇
世帯状況	高齢者世帯
近隣状況	〇
避難状況	〇

一 覧 表	
氏名	長野太郎
住所	長野市
行政区	〇
地区名	〇
地区コード	〇
世帯状況	高齢者世帯
近隣状況	〇
避難状況	〇

《共通レイヤー》

- 住宅地図 ※国土地理院地図
- 重ねるハザード
- 避難所等の資源マップ

《自治会等》

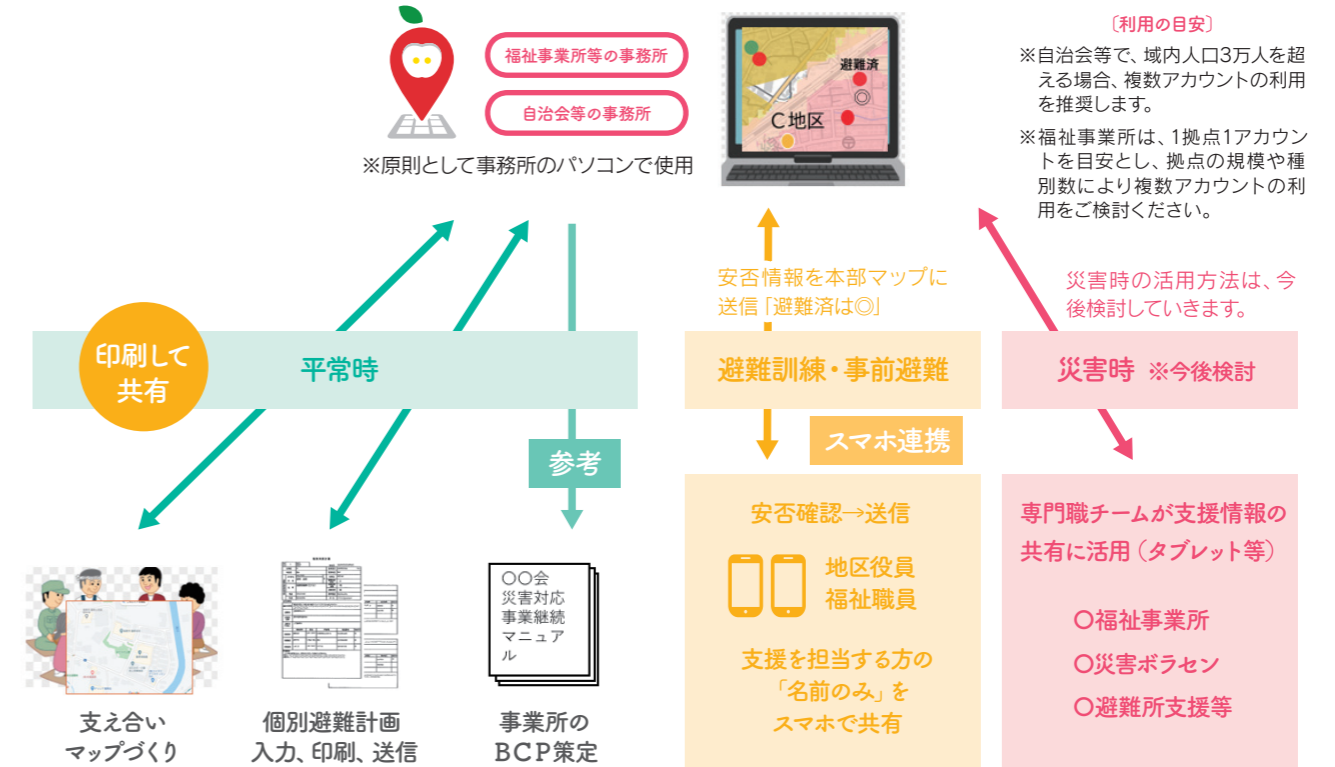
- 地域の支援者マップ

《施設・事業所》

- 職員の住所マップ



# 「災福マップ」でつなげよう、広げよう！



# 「ABCアセスメント」から始めましょう。

災害時要援護者の避難時のリスクをABCランク分けして災福マップにインポート。マップで地域全体を見渡して、支援の優先度を確認することから取り組みがスタートします。

ワークフロー

災害時要援護者の名簿等

避難支援の優先度 A~Cランク分け

- Aランク
- Bランク
- Cランク

名簿をもとに避難支援の優先度をA~Cにランク付けします。  
ランク分けの基準は、民生委員や福祉専門職の経験をふまえて、地域ごとに決めましょう。

2名が●Aレベルだが、災害リスクは少ない。事前避難は無理しない。

●Bレベル3名、●Cレベル4名  
移動支援が必要な人が多い。土砂災害警戒区域に該当。

避難所までのルートに浸水想定区域を經由。早めの事前避難が必要。

避難所

※大桑村社会福祉協議会作成



# 「現場」で使えることを「実証」済！

令和3年1月~12月の間、長野県内26法人が参加して「防災福祉カンタンマップ実証実験」を実施。各法人の在宅福祉サービス利用者から希望者を募って、災福マップを活用し、その有効性、可能性を確認済です。

防災福祉カンタンマップ 実証実験

実施主体  
長野県社協福祉協議会

協力団体  
サイボウズ株式会社 《キントーン、東京都》  
あっとクリエーション株式会社 《プラグイン、大阪市》  
(特活)さくらネット 《企画指導、西宮市》

(1) ABCアセスメント ●入力済団体…22団体 ●入力済数…(要援護者) 5,931名

(2) 実績

平常時	避難訓練・事前避難	発災時、復旧期	復興期
<ul style="list-style-type: none"> <li>「住民支え合いマップ」の作成、更新支援 8団体、76地区</li> <li>「個別避難計画」のモデル策定 7団体、46件</li> <li>BCP策定に活用してみた 4団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練での活用 3団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※未実施</li> <li>…今後検討予定</li> <li>…他県の取り組みとの連携も想定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本台風災害被災者支援「地域ささえあいセンター」〔長野市在勤〕</li> </ul>